

大学院人間・環境学研究科 附属学術越境センター学術越境フォーラム第2回  
2025年5月30日(金) 5限 16:45~18:15  
京都大学吉田南構内 人間・環境学研究科棟(No.89)4階433室

**最新の流行語「超学際性」を考える**  
**—越境とは何か？越境は実践に結びつくか？—**  
**Transdisciplinarity, the latest buzzword?**  
**What boundary crossing means and how it works in practice**

どなたでも参加可、講演後交流会あり

講師

リーヤ・ランビーノ (Ria Lambino, PhD)  
総合地球環境学研究所 フューチャー・アース センター  
長 (Director, Future Earth Center, Research Institute  
for Humanity and Nature)



講師からのコメント

超学際性(トランスディシプリナリティ)は、研究、政策、実践においてますます推進されつつあるが、それは単なる最新の流行語なのだろうか？本講演では、専門用語の理解にとどまらず、研究者、実務家、コミュニティがどのように協働して複雑な社会的課題に取り組むことができるかを検証しながら、境界を超えることの本当の意味を探ります。現実社会での実例をもとに、超学際研究の原理と落とし穴を解き明かし、何が超学際研究を効果的なものにするのかを考え、学問分野、セクター、知識など、境界を超えた有意義な関わりを支える条件をどのように整えるかについて議論します。このようなアプローチに取り組むためのスキルやコンピテンシーについてもお話しします。

講師略歴

京都大学大学院地球環境学堂修士課程・博士課程修了。総合地球環境学研究所フューチャーアースセンター長、フューチャーアース日本委員会副委員長。アジアの環境保全と持続可能性に焦点を当てた実務家、研究者として20年以上の経験を持つ。WWF フィリピン(持続可能な生産担当副代表を含む)では、さまざまなスケールでマルチステークホルダーによる共同プロジェクトに従事した。総合地球環境学研究所ではさまざまな超学際的项目に携わり、フューチャーアースでは、多様な持続可能性研究と知識-行動ネットワークのコーディネータに携わる。科学と政策、研究と実践、超学際性(トランスディシプリナリティ)の狭間で、境界を超える存在として活動している。

Transdisciplinarity is increasingly being promoted in research, policy, and practice—but is it just the latest buzzword? This talk explores what boundary crossing really entails, moving beyond jargon to examine how researchers, practitioners, and communities can collaboratively address complex societal challenges. Drawing on real-world examples, we'll unpack the principles and pitfalls of transdisciplinary work, reflect on what makes it effective, and discuss how to create the conditions that support meaningful engagement across boundaries -- disciplines, sectors, and ways of knowing. I will also share about the kinds of skills and competencies to engage in this type of approach.

Ria Lambino finished her Masters and PhD at Kyoto University Graduate School of Global and Environmental Studies. She is the Director of Future Earth Center at the Research Institute for Humanity and Nature, Deputy Director of Future Earth Global Hub Japan. Her experience spans 20+ years as a practitioner and researcher focusing on environmental conservation and sustainability in Asia. She has worked at WWF Philippines (including as Vice president for Sustainable Production) undertaking collaborative multi-stakeholder projects at different scales, at RIHN engaging in various transdisciplinary projects, and at Future Earth coordinating diverse sustainability research and knowledge-action networks. She works as a boundary-spanner in the in-between spaces of science and policy, research and practice, and transdisciplinarity.



#### フューチャーアースと「アジア地域若手研究者のための超学際学校」

2014年に設立されたフューチャーアース(Future Earth: FE)は、国連機関(UNESCO, UNEP, WMO, UNU, SDSN)と、アカデミアを代表する世界組織(国際科学会議(ISC))、および各国の環境研究の資金提供機関の集まりであるベルモントフォーラム(Belmont Forum)等が合同で立ち上げたグローバル課題の研究活動ネットワークです。フューチャーアース日本委員会は、日本でFuture Earthの活動を推進する主要な組織で、Future Earthの趣旨に賛同した日本の大学、研究機関、企業、NPO、メディアなどが参加。日本におけるFuture Earthの活動推進に関し、産業界や地域社会など社会のステークホルダーを代表する役割を担っています。日本学術会議の関連委員会やFuture Earth国際事務局日本ハブと連携し、社会と学術の協働を具体的に行い、国連持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた社会の取り組みへの貢献を目指しています。フューチャーアースアジア地域センター主催「アジア地域若手研究者のための超学際学校(TERRA School: Transdisciplinarity for Early Career Researchers in Asia School)」実施責任者としてリーヤ・ランビーノ博士はこれまで12カ国100名程度の参加者をファシリテートしてきました。